

				科目コード	245
科目名	総合実習 (Integrated Clinical Nursing Practice)			開講学科	看護学科
選択区分	必修	単位数 (時間)	2 単位 (90時間)	履修時期	4 年次前期
担当教員	看護学科全教員 (基礎教育講座教員を除く)			科目区分	専門科目
実習目的	臨地実習の最終段階として、各看護学で学んできた知識・技術・態度を統合し視野を広げることで、自己の看護観を深めることができる。				
実習目標	1. 看護管理の視点と実践とのつながりを理解できる。 2. 優先順位や時間管理等を考えながらチームの一員として行動できる。 3. 自ら課題・疑問を見出し、解決・発展に向けて行動することができる。 4. 主体的に、体験からの学びを振り返り、統合・共有・発展することができる。				

授業内容

1. オリエンテーション 実習可能な施設・病棟の説明を受け、希望票を提出する。 学生の希望をもとに実習場所を調整し、学生ホールに掲示する。	
2. 総合実習準備週間 展開例を参考に、実習指導教員と相談し実習期間中の具体的な行動計画を立てる。 体験交換会のオリエンテーション、グループで準備を整える。	
3. 臨地実習 1) 実習期間 実習要項に記載 2) 実習場所 愛媛県立中央病院、伊予病院、愛媛大学医学部附属病院、松山記念病院、松山赤十字病院 まつやま助産院、訪問看護ステーション 3) 実習展開の方法 目標1の展開例：看護管理責任者や病棟管理者、認定看護管理者からの臨床講義 管理者またはリーダーナースのシャドウイング 目標2の展開例：複数患者の受け持ち、看護チームの一員として看護過程の展開・申し送り 外来や他病棟の看護師との連携・協働場面に参加 職種横断的なチーム活動の臨床講義 多職種カンファレンスへの参加	
4. 体験の統合・共有 個別に実習体験を振り返り、学びを言語化するとともにグループで共有・ディスカッションする。 チームプレゼンのテーマを決定し、発表準備を行う。 体験交換会の開催準備を分担して行う。	
5. 体験交換会 目的：学生同士または指導者と学びを共有し、積極的に意見交換を行うことで看護観を発展させる。 日時：実習最終日の午後 場所：大学内 会場に分かれて実施 参加者：学生、教員、臨地実習指導者・看護管理者 運営：会場設営、司会・進行・受付は学生が担当する。	
成績評価方法	実習目標到達度の自己評価 (100点)・教員評価 (100点)
教科書	各領域の教科書を用いる
参考図書	各領域の参考書を用いる
備考	実習時間 原則 8:30～16:30 ※実習内容により、担当教員および実習指導者の許可を得て、最長 19:00 までの延長を認める (例：手術直後の看護や夜間に面会がある家族への退院指導等)